



DESIGN YOUR GOAL

Simulation Report

人生100年時代に備える あなたのための資産運用

太田一郎 様

2020年10月28日

WEALTH MANAGEMENT WORKSTATION

Contents

『Design Your Goal』は、あなたのライフプランの実現可能性を診断するツールです。

01 現状のサマリー

SECTION 1	生涯収支サマリー	4
SECTION 2	ライフイベントの実現可能性	5
SECTION 3	必要保障額サマリー	6

02 資産分析とライフプランシミュレーション

SECTION 1	現状のアセットアロケーション	8
SECTION 2	年間収支と金融資産残高の推移 [グラフ]	9
SECTION 3	年間収支と金融資産残高の推移 [明細表]	10
SECTION 4	ゴールベースプランニング (現状)	13

03 人生100年時代に備える 資産運用のご提案

SECTION 1	最適なアセットアロケーションのご提案	15
SECTION 2	最適なアセットアロケーションの運用可能性 分析	16
SECTION 3	ゴールベースプランニング (提案後)	17
SECTION 4	アセットアロケーション見直しによる改善効果	18
SECTION 5	組替え商品のご提案	19

04 万一のリスクに備える 必要保障額のシミュレーション

SECTION 1	ご本人様に万一のことがあった場合の必要保障額 [グラフ]	21
SECTION 2	ご本人様に万一のことがあった場合の必要保障額 [明細表]	22
SECTION 3	万一のリスクに対するご本人様の備え	25
SECTION 4	配偶者様に万一のことがあった場合の必要保障額 [グラフ]	26
SECTION 5	配偶者様に万一のことがあった場合の必要保障額 [明細表]	27
SECTION 6	万一のリスクに対する配偶者様の備え	29
	ご回答内容	30
	前提条件	33



01 現状のサマリー

ライフプランの設計にはゴールベースプランニングと呼ばれる手法を採用しています。ゴールベースプランニングでは、人生で達成したい目標をゴールとして設定します。この目標の実現可能性を確率として計算できる手法がゴールベースプランニングです。

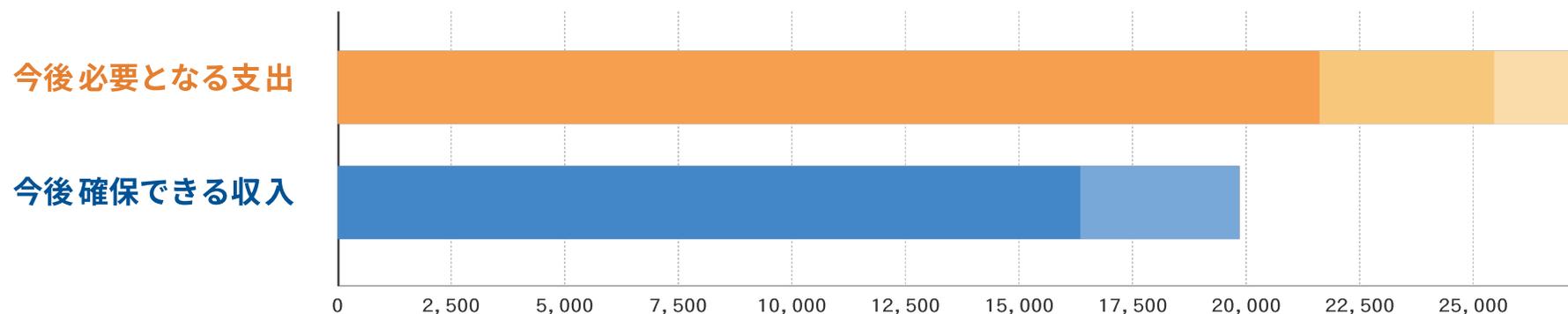
『Design Your Goal』では、お客様の資産を「基本生活費」、「ライフイベント費用」、「ご家族に残す資金」の3つに分類。それぞれにどのくらいのお金が必要かを試算して目標（ゴール）とし、目標に対する実現可能性をご案内します。

この章のポイント

- 生涯を通じた収支のバランスをチェックしましょう
- ご本人様に万一のことがあった場合に必要となる資金（必要保障額）を試算しましょう
- 現時点でのライフイベントの実現可能性をみてみましょう

SECTION 1 生涯収支サマリー

シミュレーション終了時点までの収支グラフ



グラフの内訳

■ 基本生活費	21,615 万円	} 今後必要となる支出合計 27,465 万円
■ ライフイベント費用	3,850 万円	
■ ご家族に残す資金	2,000 万円	
■ 今後の給与・事業等収入 退職金・その他	16,354 万円	} 今後確保できる収入合計 19,854 万円
■ 現在の金融資産残高	3,500 万円	

生涯収支

今後確保できる 収入合計	今後必要となる 支出合計	差額
19,854 万円	27,465 万円	▲7,611 万円



生涯の支出をカバーできる収入が確保できているか？

REPORT 分析レポート

【お客様の生涯収支について】

「基本生活費」を確保することは難しいと考えられます。
今後確保できる収入合計は今後必要となる支出合計を7,611万円下回ると予想されます。

SECTION 2 ライフイベントの実現可能性

各ライフイベントの金額や実現可能性を確認しましょう。
資産運用の成果により確保できる資金の合計が変化します。

平均的ケース ライフプラン終了時点までのシミュレーション

(単位：万円)

	1 ライフイベント実現に 必要となる資金	2 ライフイベント実現に向けて 確保できる資金	2 - 1 差額	ライフイベントの 実現可能性
基本生活費	21,615	21,615	0	★★★★☆ 90%
ライフイベント	1 旅行	750	750	★★★★☆ 85%
	2 自宅リフォーム	1,000	1,000	★★★☆☆ 75%
	3 趣味	2,100	2,100	★★☆☆☆ 50%
				☆☆☆☆☆
				☆☆☆☆☆
				☆☆☆☆☆
				☆☆☆☆☆
				☆☆☆☆☆
				☆☆☆☆☆
				☆☆☆☆☆
ライフイベント費用合計	3,850	3,850	0	★★★☆☆ 50%
ご家族に残す資金	2,000	318	▲1,682	★★☆☆☆ 40%
合計	27,465	25,784	▲1,682	—

※「平均的ケース」とは、1,000回のシミュレーションを実行した場合の500番目の運用シナリオです。
※各ライフイベントの実現可能性は、優先順位の高いイベントから資金を確保した場合の当該イベントの達成可能性の確率です。
※各ライフイベントの実現可能性は、1,000回のシナリオのうち、ライフイベントを実現できるシナリオ数をカウントして試算しています。

SECTION 3 必要保障額サマリー

ご本人様			
👤	太田一郎	様	55歳
ご家族			
👤	太田智子	様	52歳
試算条件			
配偶者さまが平均余命まで生存した場合			

ご本人様(現時点)に万一のことがあった場合に必要となるお金の目安



ご本人様(現時点)に万一のことがあった場合の保障が必要な期間

ご本人様に万一のことがあった時の配偶者様の年齢から、平均余命までの期間を指しています。

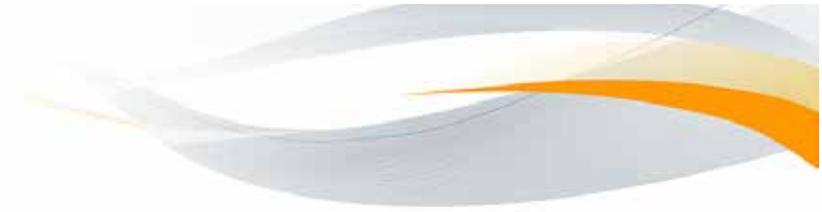
$$88 \text{ 歳} - 52 \text{ 歳} = 36 \text{ 年}$$

平均余命 配偶者さまの現在の年齢 保障が必要な期間の目安

REPORT 分析レポート

【ご家族の必要保障額について】

ご本人様に万一のことがあった場合、将来の支出をカバーする収入が不足すると予想されます。生命保険・医療保険・損害保険、金融資産による準備や支出の見直しなどが必要です。



02 資産分析とライフプランシミュレーション

資産運用の世界ではアセットアロケーション(資産配分)という考え方を重視します。

「どのような金融商品を購入したか」といったミクロの視点ではなく、「どのようなカテゴリーの資産に投資するか」というマクロの視野で投資戦略を構築していきます。

こうしたアセットアロケーションの決定は、あなたの投資パフォーマンスに最も大きな影響を与えていると言われています。

この章のポイント

- 現時点の保有金融資産のアセットアロケーションを把握しましょう
- 現時点のアセットアロケーションで運用した場合の金融資産の推移をみてみましょう
- 将来のライフイベントを明確にしましょう

SECTION 1 現状のアセットアロケーション / SECTION 2 年間収支と金融資産残高の推移[グラフ] / SECTION 3 年間収支と金融資産残高の推移[明細表] / SECTION 4 ゴールベースプランニング(現状)

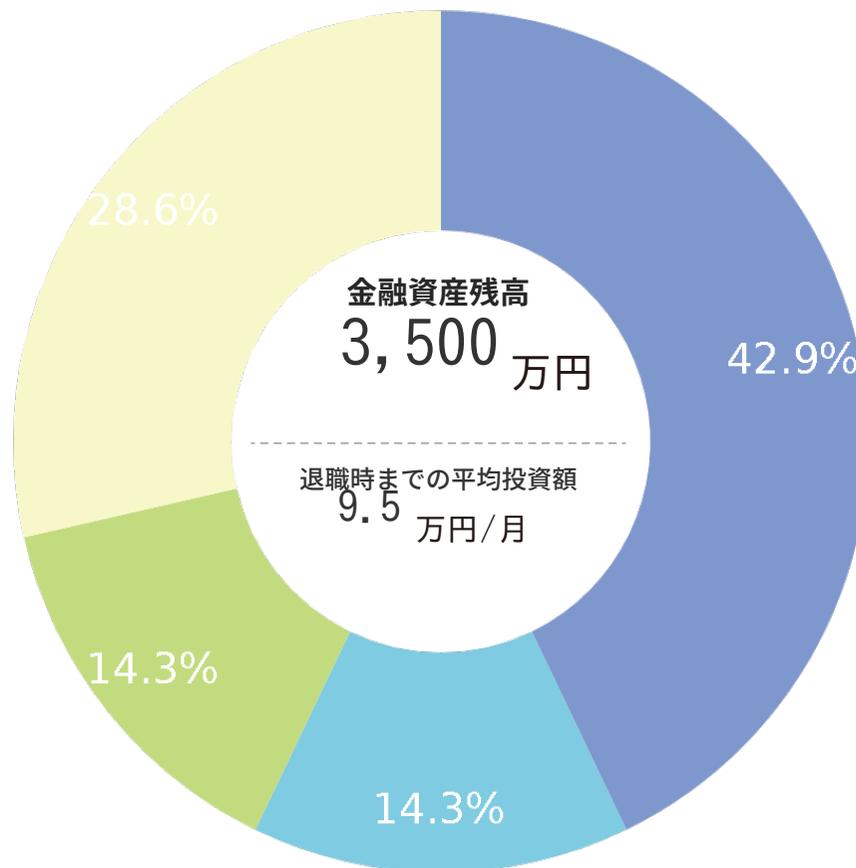
SECTION 1 現状のアセットアロケーション

現在お客様が保有している金融資産の状況

アセットクラス

国内短期	1,000 万円
国内債券	0 万円
国内株式	500 万円
国内 REIT	0 万円
外国短期	0 万円
外国債券	500 万円
外国株式	1,500 万円
外国 REIT	0 万円
オルタナティブ等	0 万円
コモディティ	0 万円
金融資産残高	3,500 万円

配分比率



REPORT 分析レポート

【現在の金融資産状況について】

準備資金(国内短期)を1,000万円
外国株式・投資信託(外国株式型)・国内株式・投資信託(国内株式型)を中心に運用資金(国内短期以外)を2,500万円保有されています。
生活防衛のための資金(目安:6か月分の生活費)240万円は、準備資金(国内短期)で確保されています。

SECTION 2 年間収支と金融資産残高の推移 [グラフ]

年間収支と金融資産残高の推移



生涯を通じて資金を確保できているか？
資金が枯渇することはないか？

退職時までの平均投資額
9.5
万円/月

■ 金融資産残高
平均的なケース

■ 良いケース
(上位 5%)

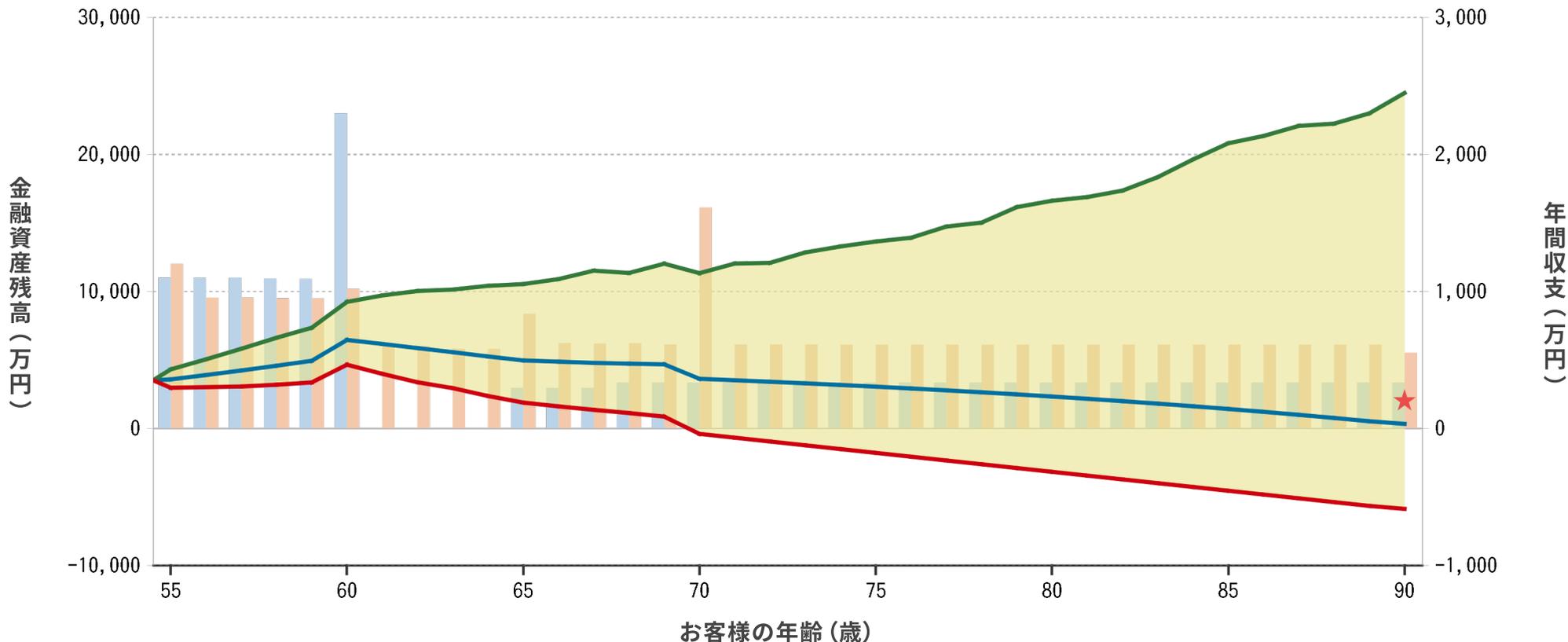
■ 悪いケース
(下位 5%)

■ 金融資産残高が
推移する予想範囲

■ 収入

■ 支出

★ ご家族に残す資金



REPORT 分析レポート

【お客様の金融資産残高について】

資産運用の成果が予想される平均的なケースで推移した場合、現時点では資金が不足する可能性は低いと考えられますが、お客様が希望されるライフプランをすべて実現することは難しい状況です。
なお、現状のアセットアロケーションで90歳まで運用した時の金融資産残高は318万円と予想されます。

SECTION 3 年間収支と金融資産残高の推移 [明細表]

1/3

(単位：万円)

年齢	ご本人様(歳)			55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67		
	配偶者様(歳)			52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64		
	合計	退職前	退職後															
収入	給与収入・事業収入・退職金等	7,781	5,481	2,300	1,100	1,099	1,098	1,094	1,090	2,300	0	0	0	0	0	0		
	本人 公的年金	6,780	0	6,780	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	295	295	295	
	本人 個人年金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	配偶者 給与・事業等収入・退職金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	配偶者 公的年金	1,792	0	1,792	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	配偶者 個人年金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
[今後確保できる収入] 合計		16,354	5,481	10,872	1,100	1,099	1,098	1,094	1,090	2,300	0	0	0	0	295	295	295	
支出	生活費	15,420	2,400	13,020	480	480	480	480	480	420	420	420	420	420	420	420	420	
	住居費	3,456	480	2,976	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	
	教育費																	
	借入金等返済資金																	
	税金・社会保険料	2,739	1,577	1,163	315	318	317	314	312	192	24	24	4	4	10	46	43	
	その他支出																	
	[基本生活費] (小計)		21,615	4,457	17,159	891	894	893	890	888	708	540	540	520	520	526	562	559
	旅行	750	250	500	250	0	0	0	0	250	0	0	0	0	250	0	0	
	自宅リフォーム	1,000	0	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	趣味	2,100	300	1,800	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	
	[ライフイベント費用] (小計)		3,850	550	3,300	310	60	60	60	60	310	60	60	60	60	310	60	60
[今後必要となる支出] 合計		25,465	5,007	20,459	1,201	954	953	950	948	1,018	600	600	580	580	836	622	619	
収支差額					▲101	145	144	144	143	1,282	▲600	▲600	▲580	▲580	▲541	▲327	▲324	
金融資産残高推移					3,566	3,883	4,214	4,561	4,923	6,443	6,153	5,849	5,551	5,238	4,949	4,860	4,770	

SECTION 3 年間収支と金融資産残高の推移 [明細表]

2/3

(単位：万円)

年齢	ご本人様(歳)			68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
	配偶者様(歳)			65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77
				合計	退職前	退職後										
収入	本人	給与収入・事業収入・退職金等	7,781	5,481	2,300	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		公的年金	6,780	0	6,780	256	256	256	256	256	256	256	256	256	256	256
		個人年金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	配偶者	給与・事業等収入・退職金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		公的年金	1,792	0	1,792	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78
		個人年金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
[今後確保できる収入] 合計			16,354	5,481	10,872	334	334	334	334	334	334	334	334	334	334	334
支出		生活費	15,420	2,400	13,020	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420
		住居費	3,456	480	2,976	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96
		教育費														
		借入金等返済資金														
		税金・社会保険料	2,739	1,577	1,163	45	36	36	36	36	35	35	35	35	34	35
		その他支出														
		[基本生活費] (小計)	21,615	4,457	17,159	561	552	552	552	552	551	551	551	551	550	551
		旅行	750	250	500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		自宅リフォーム	1,000	0	1,000	0	0	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0
		趣味	2,100	300	1,800	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60
		[ライフイベント費用] (小計)	3,850	550	3,300	60	60	1,060	60	60	60	60	60	60	60	60
[今後必要となる支出] 合計			25,465	5,007	20,459	621	612	1,612	612	612	611	611	611	611	610	611
収支差額						▲287	▲278	▲1,278	▲278	▲278	▲278	▲277	▲277	▲277	▲276	▲276
金融資産残高推移						4,713	4,662	3,608	3,503	3,393	3,279	3,159	3,034	2,903	2,766	2,623

SECTION 3 年間収支と金融資産残高の推移 [明細表]

3/3

(単位：万円)

年齢	ご本人様(歳)			81	82	83	84	85	86	87	88	89	90			
	配偶者様(歳)			78	79	80	81	82	83	84	85	86	87			
	合計	退職前	退職後													
収入	給与収入・事業収入・退職金等	7,781	5,481	2,300	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	本人 公的年金	6,780	0	6,780	256	256	256	256	256	256	256	256	256	256		
	本人 個人年金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	配偶者 給与・事業等収入・退職金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	配偶者 公的年金	1,792	0	1,792	78	78	78	78	78	78	78	78	78	78		
	配偶者 個人年金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	その他収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
[今後確保できる収入] 合計	16,354	5,481	10,872	334	334	334	334	334	334	334	334	334	334			
支出	生活費	15,420	2,400	13,020	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420		
	住居費	3,456	480	2,976	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96		
	教育費															
	借入金等返済資金															
	税金・社会保険料	2,739	1,577	1,163	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35		
	その他支出															
	[基本生活費] (小計)	21,615	4,457	17,159	551	551	551	551	551	551	551	551	551	551		
	旅行	750	250	500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	自宅リフォーム	1,000	0	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	趣味	2,100	300	1,800	60	60	60	60	60	60	60	60	60	0		
	[ライフイベント費用] (小計)	3,850	550	3,300	60	60	60	60	60	60	60	60	60	0		
[今後必要となる支出] 合計	25,465	5,007	20,459	611	611	611	611	611	611	611	611	611	551			
収支差額				▲276	▲276	▲276	▲276	▲276	▲276	▲276	▲276	▲276	▲216			
金融資産残高推移				2,150	1,977	1,796	1,606	1,407	1,198	979	750	510	318			

SECTION 4 ゴールベースプランニング（現状）

現在のアセットアロケーションで資産運用した場合のライフイベントの実現可能性を予測しています。
ライフイベントは優先順位が高い順に並べています。



基本生活費

55歳～90歳まで

21,615 万円

実現可能性

★★★★☆ 90%



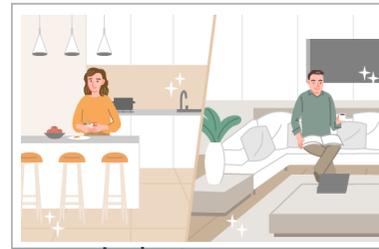
旅行

55歳～70歳 5年毎

750 万円

実現可能性

★★★★☆ 85%



自宅リフォーム

70歳 1回のみ

1,000 万円

実現可能性

★★★★☆ 75%



趣味

55歳～90歳 1年毎

2,100 万円

実現可能性

★★★☆☆ 50%



マイカー購入

0 万円

実現可能性

☆☆☆☆☆

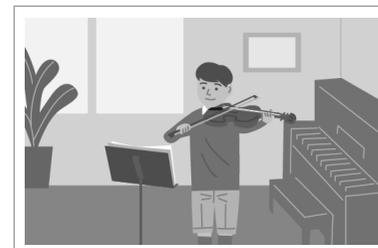


健康・美容

0 万円

実現可能性

☆☆☆☆☆



お子様の習い事

0 万円

実現可能性

☆☆☆☆☆



ご家族に残す資金

90歳時

2,000 万円

実現可能性

★★★☆☆ 40%



03 人生100年時代に備える 資産運用のご提案

投資の世界ではハイリスク・ハイリターンが原則といわれており、資産運用においては不確実性が存在します。そのためお客様は自らの投資スタイルにあった無理のないアセットアロケーションを決めることが重要です。具体的には自らのリスク許容度を診断し投資スタイルを決定します。

『Design Your Goal』では、それぞれの投資スタイルに適したアセットアロケーション（資産配分）を提案します。

この章のポイント

- 自分の投資スタイルを知りましょう
- ご提案したアセットアロケーションで運用した場合の金融資産の推移、ライフイベントの実現可能性をみてみましょう
- アセットアロケーション見直しの効果をチェックしましょう
- 具体的なアセットクラスの組替えイメージを、表で確認しましょう

SECTION 1 最適なアセットアロケーションのご提案 / SECTION 2 最適なアセットアロケーションの運用可能性分析 /

SECTION 3 ゴールベースプランニング（提案後） / SECTION 4 アセットアロケーション見直しによる改善効果 / SECTION 5 組替え商品のご提案

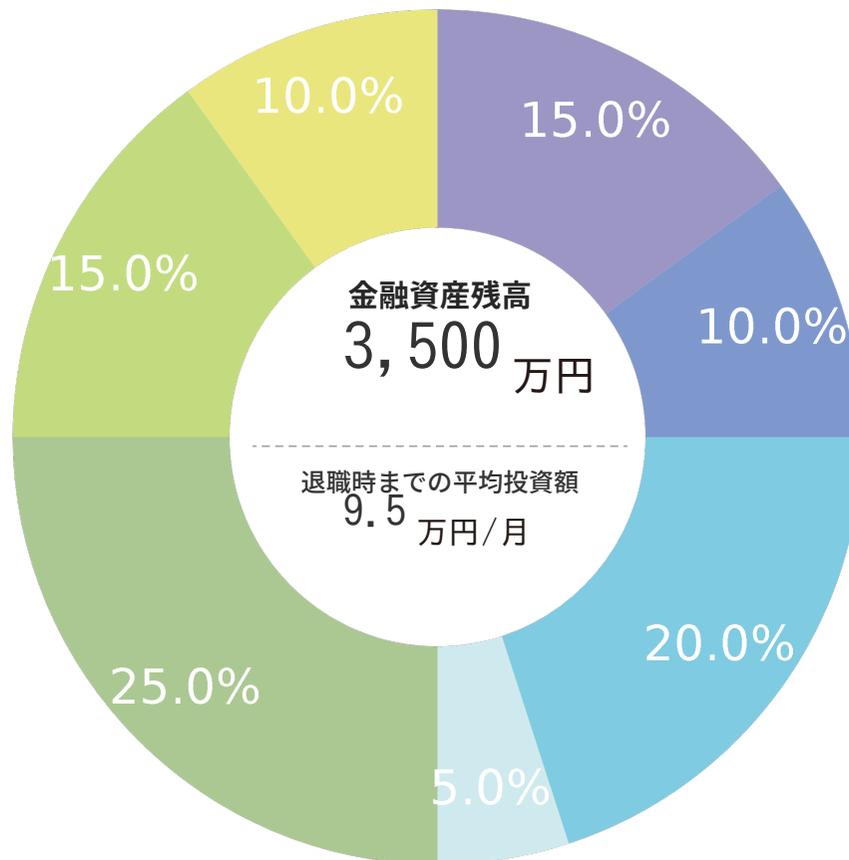
SECTION 1 最適なアセットアロケーションのご提案

ご提案するアセットアロケーション

アセットクラス

国内短期	0 万円
国内債券	350 万円
国内株式	525 万円
国内 REIT	875 万円
外国短期	175 万円
外国債券	700 万円
外国株式	350 万円
外国 REIT	525 万円
オルタナティブ等	0 万円
コモディティ	0 万円
金融資産残高	3,500 万円

配分比率



投資スタイル

お客様へご提案する投資スタイル

成長型

成長型で運用した場合の
リスクとリターン

期待リターン 5.12 %

想定リスク 11.11 %

POINT ご提案のポイント

お客様の資産運用に対する考え方は、やや積極的と評価され、投資元本の安定的運用よりも資産の成長を優先する「成長型」タイプと診断されます。金融資産3,500万円のうち、0万円を国内短期に、残りの3,500万円を「成長型」スタイルで運用するプランです。

SECTION 2 最適なアセットアロケーションの運用可能性分析

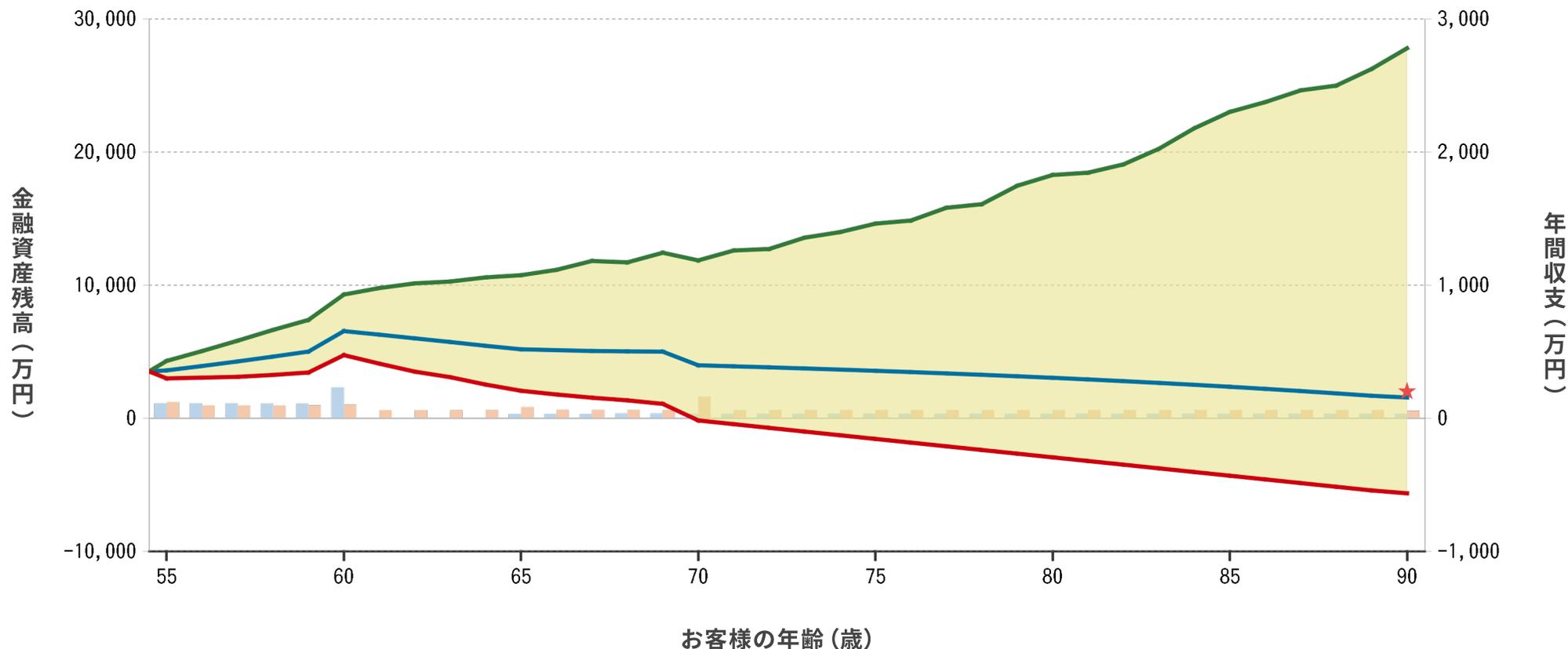
最適なアセットアロケーションで運用した場合の 年間収支と金融資産残高の推移

退職時までの平均投資額
9.5 万円/月

■ 金融資産残高 平均的なケース ■ 良いケース (上位 5%) ■ 悪いケース (下位 5%) ■ 金融資産残高が推移する予想範囲

check | 生涯を通じて資金を確保できているか？
資金が枯渇することはないか？

■ 収入 ■ 支出 ★ ご家族に残す資金



REPORT 分析レポート

【最適なアセットアロケーションの
運用可能性の分析結果】

SECTION 3 ゴールベースプランニング (提案後)

ご提案したアセットアロケーションで資産運用した場合のライフイベントの実現可能性を予測しています。
ライフイベントは優先順位が高い順に並べています。



基本生活費

55歳～90歳まで

21,615 万円

実現可能性

★★★★★ 95%超



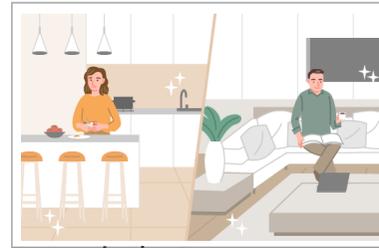
旅行

55歳～70歳 5年毎

750 万円

実現可能性

★★★★☆ 90%



自宅リフォーム

70歳 1回のみ

1,000 万円

実現可能性

★★★★☆ 80%



趣味

55歳～90歳 1年毎

2,100 万円

実現可能性

★★★★☆ 55%



マイカー購入

0 万円

実現可能性

☆☆☆☆☆



健康・美容

0 万円

実現可能性

☆☆☆☆☆



お子様の習い事

0 万円

実現可能性

☆☆☆☆☆



ご家族に残す資金

90歳時

2,000 万円

実現可能性

★★★☆☆ 45%

SECTION 4 アセットアロケーション見直しによる改善効果

アセットアロケーションを改善することにより、確保できる資金が増加します。
その結果、余裕をもってライフイベントを実現することが可能となります。

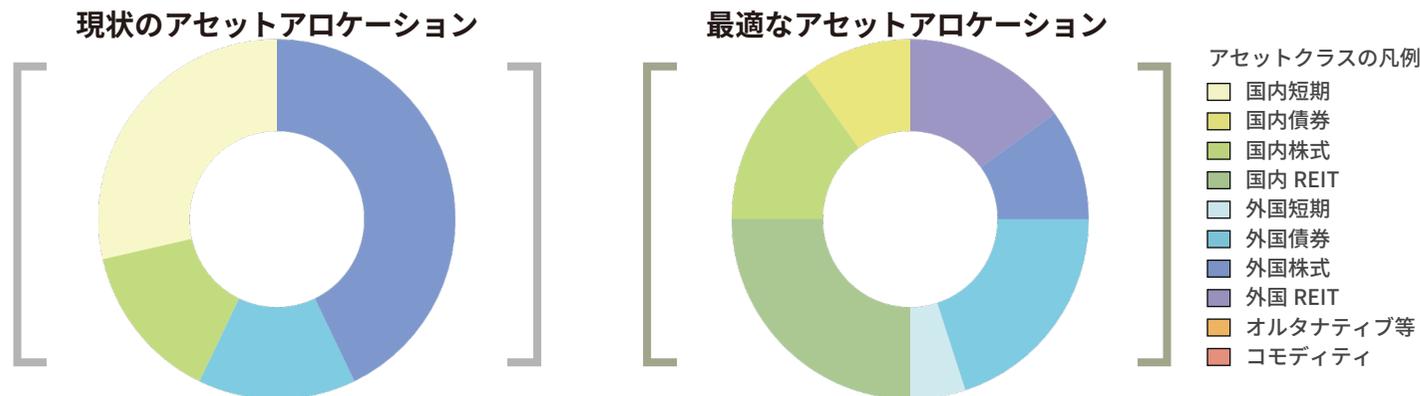
平均的ケース ライフプラン終了時点までのシミュレーション

(単位：万円)

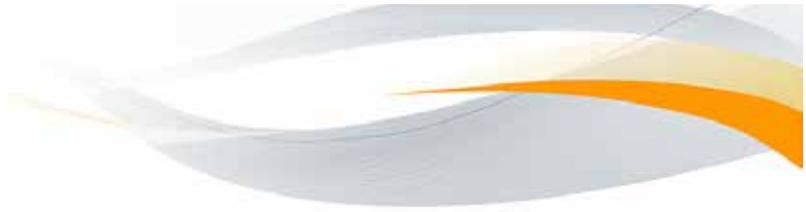
	1 ライフイベント実現に必要な資金	現状のアセットアロケーションで運用した場合		最適なアセットアロケーションで運用した場合	
		2 ライフイベント実現に向けて確保できる資金	2 - 1 差額	3 ライフイベント実現に向けて確保できる資金	3 - 1 差額
基本生活費	21,615	21,615	0	21,615	0
ライフイベント	1 旅行	750	750	0	0
	2 自宅リフォーム	1,000	1,000	0	0
	3 趣味	2,100	2,100	0	0
ライフイベント費用合計	3,850	3,850	0	3,850	0
ご家族に残す資金	2,000	318	▲1,682	1,541	▲459
合計	27,465	25,784	▲1,682	27,006	▲459

SECTION 5 組替え商品のご提案

アセットアロケーションの比較



アセットクラス	現状のアセットアロケーション		最適なアセットアロケーション		組替 金額 (単位:万円)	組替え商品提案
	金額 (単位:万円)	比率	金額 (単位:万円)	比率		
国内短期	1,000	28.6%	0	0.0%	▲1,000	
国内債券	0	0.0%	350	10.0%	350	国内債券で運用する金融商品への組み替えをご提案いたします。
国内株式	500	14.3%	525	15.0%	25	
国内 REIT	0	0.0%	875	25.0%	875	国内REITで運用する金融商品への組み替えをご提案いたします。
外国短期	0	0.0%	175	5.0%	175	
外国債券	500	14.3%	700	20.0%	200	外国債券で運用する金融商品への組み替えをご提案いたします。
外国株式	1,500	42.9%	350	10.0%	▲1,150	
外国 REIT	0	0.0%	525	15.0%	525	外国REITで運用する金融商品への組み替えをご提案いたします。
オルタナティブ等	0	0.0%	0	0.0%	0	
コモディティ	0	0.0%	0	0.0%	0	



04 万一のリスクに備える 必要保障額シミュレーション

現時点で万一のことがあった場合の必要保障額を把握しましょう

年齢毎に変化する必要保障額についても確認することが出来ます

万一のリスクへの備えとして、生命保険の加入状況について確認しておきましょう

この章のポイント

- 万一のことがあった場合の必要保障額を把握しましょう。年齢やライフスタイルにより、必要保障額は異なります
- 必要保障額の詳細は明細表で確認できます
- 万一のリスクへの備えがどのくらいできているかを把握しましょう

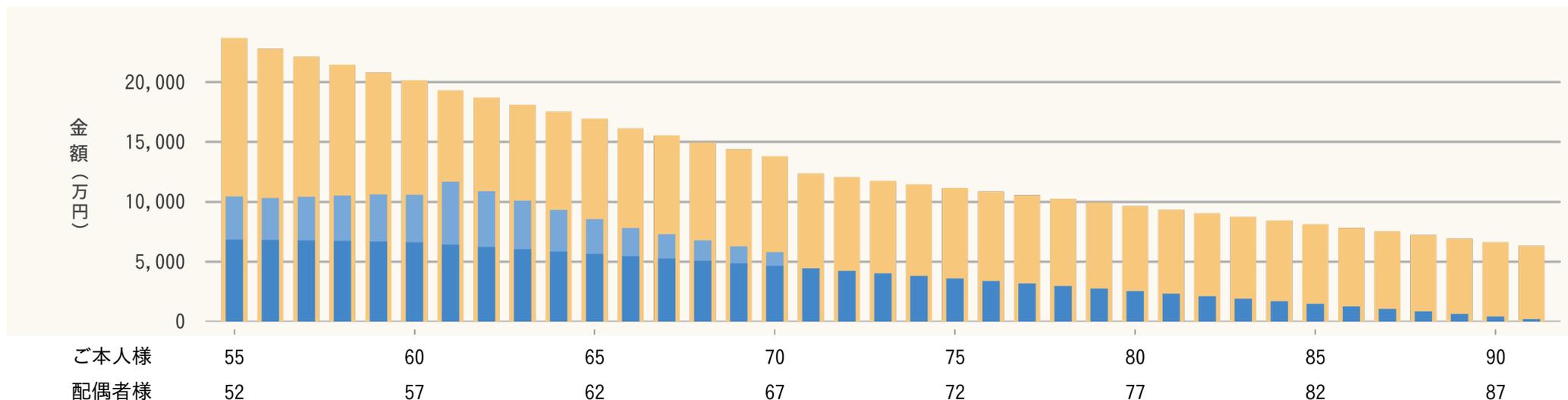
SECTION 1 ご本人様に万一のことがあった場合の必要保証額[グラフ] / SECTION 2 ご本人様に万一のことがあった場合の必要保証額[明細表] /

SECTION 3 万一のリスクに対するご本人様の備え / SECTION 4 配偶者様に万一のことがあった場合の必要保証額[グラフ] /

SECTION 5 配偶者様に万一のことがあった場合の必要保証額[明細表] / SECTION 6 万一のリスクに対する配偶者様の備え

SECTION 1 ご本人様に万一のことがあった場合の必要保障額 [グラフ]

ご本人様に万一のことがあった場合の
生涯収支比較



現時点の必要保障額



総支出が総収入を上回っている場合、その年齢以降の収入だけでは残されたご家族の生活資金を準備できません。

※1 収入の項目内訳 ①公的年金：遺族年金，老齢年金 ②公的年金以外：給与収入，事業収入，その他収入（個人年金，贈与された資金），弔慰金等，金融資産

※2 支出の内訳 生活費，住居費，教育費，借入金等返済資金，税・社会保険料，ライフイベント費用，葬儀費用

SECTION 2 ご本人様に万ーのことがあった場合の必要保障額 [明細表]

1/3

必要保障額の推移表

年齢		55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	
ご本人様(歳)		55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	
配偶者様(歳)		52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	
収入	① 給与・事業等収入・退職金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	② 公的年金	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	192	192	
	③ その他収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	④ 弔慰金等	100															
	⑤ 金融資産	3,500															
	収入合計 (公的年金収入+公的年金収入以外)	3,772	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	172	192	192
支出	① 生活費	480	480	480	480	480	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	
	② 住居費	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	
	③ 教育費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	④ 借入等返済資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	⑤ 税社会保険料	20	22	22	22	22	22	22	22	22	2	2	2	2	2	3	3
	⑥ その他支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑦ ライフイベント費用	310	60	60	60	60	310	60	60	60	60	60	310	60	60	60	60
	⑧ 葬儀費用	196															
支出合計	1,102	658	658	658	658	848	598	598	578	578	828	578	578	578	579	579	
必要保障額	13,235	12,458	11,691	10,934	10,185	9,558	7,619	7,814	8,008	8,202	8,396	8,301	8,243	8,181	8,100		

必要保障額とは？

・必要保障額とは、ご本人様(もしくは配偶者様)に万ーのことがあった場合に残されたご家族が安心して生活するために必要な金額をいいます。



・必要保障額は、**総支出** - **総収入** で算出されます。計算結果の見方の目安は以下の通りです。

総支出 > **総収入** の場合…残されたご家族が経済的に困窮する可能性があります。必要保障額に対する不足分を補う対策を検討しましょう。

総支出 < **総収入** の場合…残されたご家族の状況に大きな変化がない限り安心して生活できる状況です。

SECTION 2 ご本人様に万一のことがあった場合の必要保障額 [明細表]

2/3

必要保障額の推移表

年齢	ご本人様(歳)	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84
	配偶者様(歳)	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81
収入	① 給与・事業等収入・退職金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	② 公的年金	192	192	192	192	192	192	192	192	192	192	192	192	192	192	192
	③ その他収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	④ 弔慰金等															
	⑤ 金融資産															
	収入合計 (公的年金収入+公的年金収入以外)	192	192	192	192	192	192	192	192	192	192	192	192	192	192	192
支出	① 生活費	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420
	② 住居費	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96
	③ 教育費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	④ 借入等返済資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑤ 税社会保険料	3	3	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2
	⑥ その他支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑦ ライフイベント費用	1,060	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60
	⑧ 葬儀費用															
支出合計	1,579	579	579	579	579	579	579	579	578	578	578	578	578	578	578	
必要保障額	8,010	7,920	7,831	7,741	7,651	7,561	7,469	7,379	7,289	7,197	7,107	7,017	6,926	6,837	6,746	

必要保障額とは？

・必要保障額とは、ご本人様(もしくは配偶者様)に万一のことがあった場合に残されたご家族が安心して生活するために必要な金額をいいます。



・必要保障額は、**総支出** - **総収入** で算出されます。計算結果の見方の目安は以下の通りです。

総支出 > **総収入** の場合…残されたご家族が経済的に困窮する可能性があります。必要保障額に対する不足分を補う対策を検討しましょう。

総支出 < **総収入** の場合…残されたご家族の状況に大きな変化がない限り安心して生活できる状況です。

SECTION 2 ご本人様に万ーのことがあった場合の必要保障額 [明細表]

3/3

必要保障額の推移表

年齢	ご本人様(歳)	85	86	87	88	89	90	91								
	配偶者様(歳)	82	83	84	85	86	87	88								
収入	① 給与・事業等収入・退職金	0	0	0	0	0	0	0								
	② 公的年金	192	192	192	192	192	192	192								
	③ その他収入	0	0	0	0	0	0	0								
	④ 弔慰金等															
	⑤ 金融資産															
	収入合計 (公的年金収入+公的年金収入以外)	192	192	192	192	192	192	192								
支出	① 生活費	420	420	420	420	420	420	420								
	② 住居費	96	96	96	96	96	96	96								
	③ 教育費	0	0	0	0	0	0	0								
	④ 借入等返済資金	0	0	0	0	0	0	0								
	⑤ 税社会保険料	2	2	2	2	2	2	2								
	⑥ その他支出	0	0	0	0	0	0	0								
	⑦ ライフイベント費用	60	60	60	60	60	0									
	⑧ 葬儀費用															
	支出合計	578	578	578	578	578	518	518								
必要保障額	必要保障額	6,656	6,566	6,475	6,385	6,295	6,204	6,114								

必要保障額とは？

・必要保障額とは、ご本人様(もしくは配偶者様)に万ーのことがあった場合に残されたご家族が安心して生活するために必要な金額をいいます。



・必要保障額は、**総支出** - **総収入** で算出されます。計算結果の見方の目安は以下の通りです。

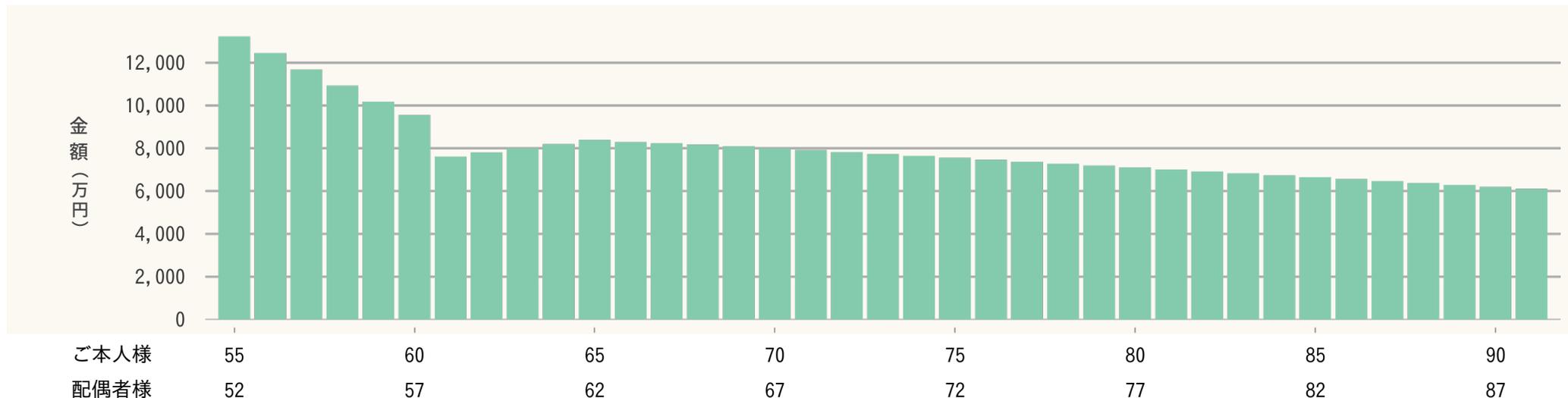
総支出 > **総収入** の場合…残されたご家族が経済的に困窮する可能性があります。必要保障額に対する不足分を補う対策を検討しましょう。

総支出 < **総収入** の場合…残されたご家族の状況に大きな変化がない限り安心して生活できる状況です。

SECTION 3 万一のリスクに対するご本人様の備え

ご本人様に万一のことがあった場合の

必要保障額とご加入されている生命保険の死亡保障額の比較



現時点 (現在年齢) で万一のことがあった場合

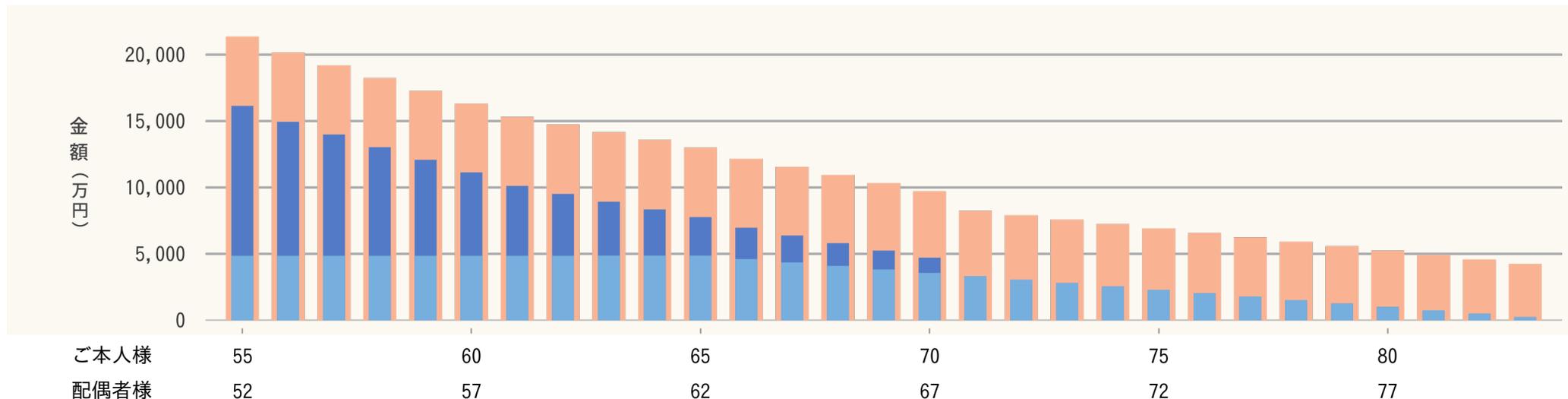


現時点で必要保障額に対し、生命保険等で付保されている金額の不足額は13,235万円と予想されます。現在ご加入されている生命保険等の死亡保障額は現時点の必要保障額に対して充分ではないと考えられます。生命保険や損害保険等の見直しや加入などの検討をご提案致します。

SECTION 4 配偶者様に万一のことがあった場合の必要保障額 [グラフ]

配偶者様に万一のことがあった場合の
生涯収支比較

■ 総支出 ■ 総収入(公的年金) ■ 総収入(公的年金以外)



現時点の必要保障額



総支出が総収入を上回っている場合、その年齢以降の収入だけでは残されたご家族の生活資金を準備できません。

※1 収入の項目内訳 ①公的年金：遺族年金，老齢年金 ②公的年金以外：給与収入，事業収入，その他収入（個人年金，贈与された資金），弔慰金等，金融資産

※2 支出の内訳 生活費，住居費，教育費，借入金等返済資金，税・社会保険料，ライフイベント費用，葬儀費用

SECTION 5 配偶者様に万ーのことがあった場合の必要保障額 [明細表]

1/2

必要保障額の推移表

年齢	ご本人様 (歳)	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69
	配偶者様 (歳)	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66
収入	① 給与・事業等収入・退職金	1,100	1,099	1,098	1,094	1,090	2,300	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	② 公的年金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	256	256	256	256	256
	③ その他収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	④ 弔慰金等	0														
	⑤ 金融資産	3,500														
	収入合計 (公的年金収入+公的年金収入以外)	4,600	1,099	1,098	1,094	1,090	2,300	0	0	0	0	256	256	256	256	256
支出	① 生活費	480	480	480	480	480	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420
	② 住居費	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96
	③ 教育費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	④ 借入等返済資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑤ 税社会保険料	321	326	325	324	323	173	2	2	2	2	8	36	34	34	34
	⑥ その他支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑦ ライフイベント費用	310	60	60	60	60	310	60	60	60	60	310	60	60	60	60
	⑧ 葬儀費用	196														
支出合計	1,403	962	961	960	959	999	578	578	578	578	834	612	610	610	610	
必要保障額	5,220	5,213	5,204	5,197	5,186	5,175	5,197	5,219	5,229	5,230	5,232	5,199	5,169	5,138	5,076	

キャッシュフローの見方



- ご本人様または配偶者様に万ーのことがあった場合、公的年金や弔慰金等である程度の収入は準備されています。それだけで不十分な場合は、必要保障額を補う生命保険の加入やライフプランの見直しが必要です。
- キャッシュフロー表において大きな収入または支出があった場合は、それらがどんな事由で発生したのか確認してみましょう。
(金額が大きなライフイベントの例) 結婚, 住宅購入, 子の学校進学, 退職, 介護費用 など

SECTION 5 配偶者様に万ーのことがあった場合の必要保障額 [明細表]

2/2

必要保障額の推移表

年齢	ご本人様 (歳)	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83
	配偶者様 (歳)	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
収入	① 給与・事業等収入・退職金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	② 公的年金	256	256	256	256	256	256	256	256	256	256	256	256	256	256
	③ その他収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	④ 弔慰金等														
	⑤ 金融資産														
	収入合計 (公的年金収入+公的年金収入以外)	256	256	256	256	256	256	256	256	256	256	256	256	256	256
支出	① 生活費	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420	420
	② 住居費	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96	96
	③ 教育費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	④ 借入等返済資金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑤ 税社会保険料	34	34	34	34	34	33	34	34	34	34	34	34	34	34
	⑥ その他支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	⑦ ライフイベント費用	1,060	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60
	⑧ 葬儀費用														
	支出合計	1,610	610	610	610	610	609	610	610	610	610	610	610	610	610
必要保障額	5,000	4,924	4,848	4,773	4,695	4,618	4,542	4,466	4,389	4,312	4,235	4,159	4,082	4,005	

キャッシュフローの見方

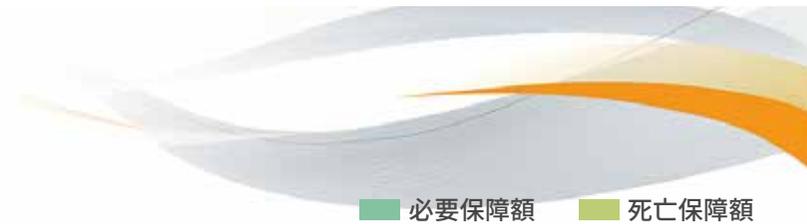


- ご本人様または配偶者様に万ーのことがあった場合、公的年金や弔慰金等である程度の収入は準備されています。それだけで不十分な場合は、必要保障額を補う生命保険の加入やライフプランの見直しが必要です。
- キャッシュフロー表において大きな収入または支出があった場合は、それらがどんな事由で発生したのか確認してみましょう。
(金額が大きなライフイベントの例) 結婚, 住宅購入, 子の学校進学, 退職, 介護費用 など

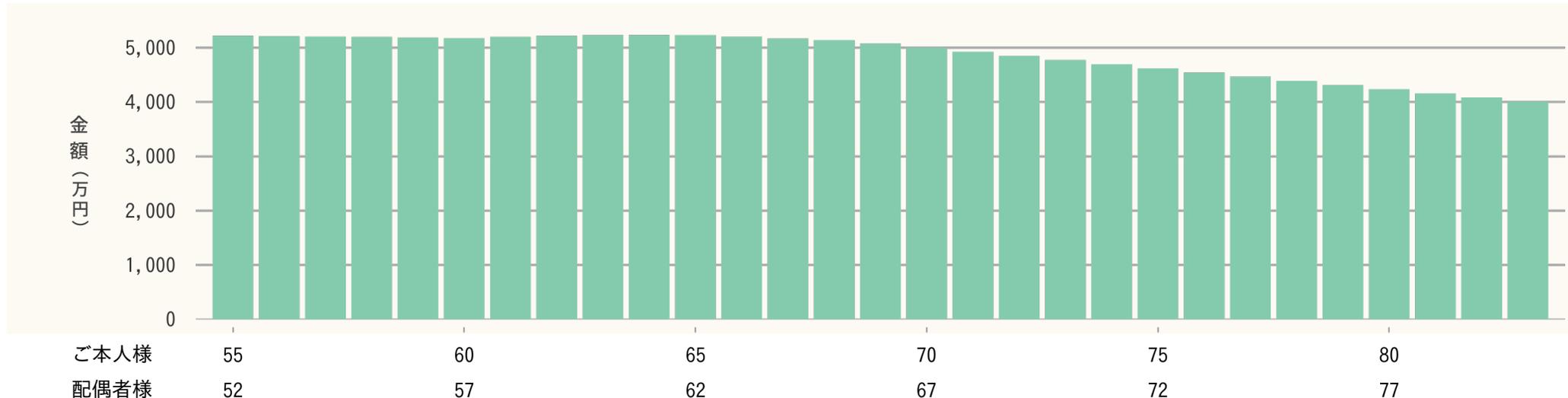
SECTION 6 万一のリスクに対する配偶者様の備え

配偶者様に万一のことがあった場合の

必要保障額とご加入されている生命保険の死亡保障額の比較



■ 必要保障額 ■ 死亡保障額



現時点 (現在年齢) で万一のことがあった場合



現時点で必要保障額に対し、生命保険等で付保されている金額の不足額は5,220万円と予想されます。現在ご加入されている生命保険等の死亡保障額は現時点の必要保障額に対して充分ではないと考えられます。生命保険や損害保険等の見直しや加入などの検討をご提案致します。

支出情報

生活費	退職前	月額	40万円
	退職後	月額	35万円
現在の住居費	持ち家の場合	住宅ローン残高	残りの返済期間
		ローン金利	維持費・管理費 8万円
	賃貸の場合	家賃・管理費	
	親と同居の場合	住居費	
将来の住み替え予定	住み替え予定時期		
	住み替え時の自宅売却金額		
	購入予定金額		自己資金
	借入金		ローン金利
	ローン返済期間		維持・管理費

借入金について

	借入金残高	残りの返済期間	ローン金利

その他支出について

	時期・頻度	期間	金額

教育費について

	幼稚園	小学校	中学校	高校	大学 コース/通学

※ご入力がない場合は高校まで公立、大学は私立文系(自宅)として試算しています。

ライフプラン情報

ライフイベント実現のための資金

	希望年齢・間隔	頻度・回数	金額
旅行	55歳～70歳まで	5年毎	250万円
自宅リフォーム	70歳時	1回のみ	1,000万円
趣味	55歳～90歳まで	1年毎	60万円

お子様への援助資金

	援助時のお子様の年齢	援助予定金額

保有金融資産について

	金額
<input type="checkbox"/> 国内短期	1,000万円
<input type="checkbox"/> 国内債券	0万円
<input type="checkbox"/> 国内株式	500万円
<input type="checkbox"/> 国内REIT	0万円
<input type="checkbox"/> 外国短期	0万円
<input type="checkbox"/> 外国債券	500万円
<input type="checkbox"/> 外国株式	1,500万円
<input type="checkbox"/> 外国REIT	0万円
<input type="checkbox"/> オルタナティブ等	0万円
<input type="checkbox"/> コモディティ	0万円
合計	3,500万円

生命保険情報

	保険種類	保障金額	保険期間満了年齢
ご本人様	定期保険		
	終身保険		—
			—
			—
収入保障保険	月額		
	月額		
	月額		
配偶者様	定期保険		
	終身保険		—
			—
			—
収入保障保険	月額		
	月額		
	月額		

運用スタイルヒアリング

Q1 投資をする場合、金融資産に占める運用資産の割合はどのくらいですか？	51%~
Q2 想定される投資期間を選択してください。	10年以上
Q3 お客様の運用に対する考え方に一番近いものを選択してください。	値上がり益を期待
Q4 100万円を10年間投資した場合の想定結果として最も魅力ある商品を選択してください。	商品D(最良ケース237万円・最悪ケース90万円)
Q5 保有している金融資産の価格が下落した場合の対応を選択してください。	しばらく様子を見る
Q6 不動産信託(REIT)への投資を希望されますか？	希望する
Q7 ヘッジファンドなどの様々な投資戦略を用いた投資を希望されますか？	希望しない
Q8 エネルギー、貴金属、穀物など商品市場への投資を希望されますか？	希望しない

将来の関心事

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 子供の教育資金の確保 | <input type="checkbox"/> 積立投資による資産形成 |
| <input type="checkbox"/> 将来購入する住宅資金の確保 | <input type="checkbox"/> 余裕資金による資産形成 |
| <input checked="" type="checkbox"/> セカンドライフのための資金 | <input type="checkbox"/> キャリアアップのための費用 |
| <input type="checkbox"/> 万一のご家族の生活保障 | <input checked="" type="checkbox"/> 相続の対策 |

What-if情報

保有金融資産について

現状平均月投資額	95,000円/月
追加投資額	0円/月

ポートフォリオの選択

投資タイプ	
-------	--

前提条件

- 本資料は当社が信頼できると判断した情報提供会社などの各種情報に基づき作成したものであり、情報の正確性には万全を期しておりますが、その正確性・安全性・将来の成果などを保証するものではありません。これら情報を利用することで生じたいかなる損害についても、情報提供会社等一切の責任を負うものではありません。資産運用などに関する最終決定はお客様ご自身の判断と責任で行われますようお願い申し上げます。
- 本資料で記載された内容は、資料作成時の当社の判断に基づくものであり、今後予告なしに変更されることがあります。
- 本資料の内容について、第三者への開示はご遠慮ください。

[ライフプランシミュレーションについて]

- 本シミュレーションでは、お客様からご提供頂いた収入や支出、保有金融資産の状況などに基づき現状の金融資産構成比で運用した場合とご提案する金融資産構成比で運用した場合における金融資産残高の推移を予測しています。
- 金融資産残高の推移は各資産の期待リターンおよび想定リスクなどを用いて予測しています。本シミュレーションは2018年9月時点の税・社会保障制度等に基づき計算しています。なお、資産運用による運用益にかかる税は考慮しておりません。また、一部制度について考慮していないものがあります。
- 本シミュレーションの数値は概算値であり実際の金額とは異なります。あくまでも目安としてお考えください。
- 期待リターン・想定リスクなどの算出には、資産別インデックスの過去実績および現在の状況などを参考に推計した値を用いております。

[各項目の計算方法及び統計値について]

【給与収入】

- 「会社員」・「公務員」の方が給与カーブを用いる場合、お伺いした現在の給与収入をもとに以下の統計値を用いて将来の給与収入を計算します。

会社員：厚生労働省「平成29年賃金構造基本統計調査」
国家公務員：人事院「平成29年国家公務員給与等実態調査」

- その他の場合、お伺いした収入が将来にわたって一定として計算しています。

【退職金】

- 統計値を用いる場合、ご職業別に以下の統計値を用いて計算しています。

会社員：東京都産業労働局「平成29年版中小企業の賃金事情」
公務員：人事院「平成28年国家公務員給与等実態調査国家公務員退職手当支給早見表」

【公的年金】

- ご職業・年収・勤続年数に応じた受給額を統計値を用いて計算しています。

【生活費】

- 統計値を用いる場合、以下の統計値に応じた平均的な生活費をかかるとして計算しています。

総務省「2017年 家計調査 家計収支編」

【住居費】

- お伺いした家賃および維持費・管理費が住み替え予定時期まで（住み替え予定がない場合は将来にわたって）一定として計算しています。
- 住宅ローンは元利均等返済方式による返済するものとして計算しています。なお、住み替え予定がある場合、住み替え予定時期に残高を一括で返済するものとして計算しています。

【教育費】

- 各進学過程においてそれぞれ下記の統計値に応じた平均的な費用がかかるものとして計算しています。

文部科学省：「平成28年子供の学習費調査」・「平成28年度私立大学入学者に係る初年度学生納付金平均額」・「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」
「平成29年私立高等学校等の生徒等納付金平均額」
独立行政法人 日本学生支援機構：「平成28年度学生生活調査」

【退職時までの平均投資額】

- 現在から退職時までの収支差額の合計から月次の平均投資額を計算しています。